

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月13日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3870103136		
法人名	医療法人創実会		
事業所名	グループホーム はなの家		
所在地	松山市六軒家町3-19		(電話) 089-924-1711
管理者	河田 明美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月12日	評価確定日	平成21年1月13日

### 【情報提供票より】 (平成20年10月23日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年2月26日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	25 人	常勤	23人, 非常勤 2人, 常勤換算 24.3人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(100,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成20年10月23日現在)			
利用者人数	27 名	男性 6 名	女性 21 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	7 名	要介護4	7 名
要介護5	7 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88 歳	最低 76 歳	最高 105 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

誕生日には、ご本人から食べたい物を聞き取り、回転寿司に行ったり、ご家族と一緒に外出する機会も設けておられる。右手に麻痺のある方も左手で食べられるように、道具や食器を工夫されていた。  
お孫さんの運動会を見に、職員が同行されたり、選挙の期日前投票に行くことも支援されている。併設のデイケアの「踊りの会」を見に行かれることもある。  
今年、事業所主催のミニ運動会を開催し、利用者に選手宣誓をしていただいたり、ゲームで楽しい時間を過ごされた。利用者は、片付けやゴミ捨て・新聞取り等、それぞれできることをされている。

### 【質向上への取組状況】

#### 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、玄関周りや近隣の散歩等、日常的に外に出る機会を増やされた。

#### 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・職員一人ひとりが自己評価に取り組み、日々行っているケアを振り返り、課題点や気付いたこと等をミーティングで話し合われた。

#### 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・会議時、民生委員の方や町内会長からの地域情報を得て、いきいきサロンへの参加や、ボランティアの受け入れ等につながり、利用者の暮らしが広がっている。又、家族会や同業者との交流も兼ね、会議が行われている。

#### 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・ご家族の来訪は頻繁にあり、大切なことは事業所に来られた時に、直接伝えるようにされている。月1回、請求書を送る際、金銭管理の報告や職員の異動等についても報告されている。最近では、ご家族と電子メールでの情報交換もされている。家族会を年に3回開催し、家族同士で話し合う時間を持っておられる。

#### 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・運営推進会議時、地域の情報を得て、行事に参加されている。又、事業所の外出の際、運営推進会議のメンバーの方が車いす介助に協力くださった。又、お茶の先生が、定期的に来られ、利用者とお茶を楽しまれている。地元小学校との交流も続いており、「ふれあいクラブ」の児童が、リコーダーを聞かせてくれたり、落語等も披露してくれる。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム はなの家

(ユニット名) ( 桃 )

記入者(管理者)

氏名 河田 明美

評価完了日

平成 20 年 10 月 2 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			安心して生活できるような理念をあげユニット独自の理念もつくり、支援している。		
			(外部評価)		
			「ぬくもりは我が家のように」という事業所の理念に沿って、ユニットごとでも職員が相談して、それぞれに理念を作成しておられる。		さらに、この機会を貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念はホーム入口とユニット内に掲示して頭にしっかりといれ、取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			各ユニットに、事業所の理念とユニットの理念が掲示されている。職員は、毎朝の申し送り時、理念を復唱されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居時には説明を行い、理解してもらえよう努めている。		地域の人とのかかわりあいの中でグループホームの事を理解してもらえようしていく。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 買い物には近隣のスーパーを利用し、地域の人との集まりに入居者と一緒に参加し、外出の際には地域の方がボランティアで協力して下さっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 毎年5月に行っているはなまつりには地域のかたを招待し、公民館での文化祭やいきいきサロンに参加するなどして交流している。 (外部評価) 運営推進会議時、地域の情報を得て、行事に参加されている。又、事業所の外出の際、運営推進会議のメンバーの方が車いす介助に協力くださった。又、お茶の先生が、定期的に来られ、利用者とお茶を楽しまれている。地元小学校との交流も続いており、「ふれあいクラブ」の児童が、リコーダーを聞かせてくれたり、落語等も披露してくれる。		運営推進会議を通じ、民生委員さんとのかかわりが密になってきた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近隣の専門学校の一日体験実習を受け入れたり、運営推進会議の中で、認知症の勉強会を行った。		母体関連の病院の医師によるセミナーが行われ、地域の人に参加された。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ミーティングを通して外部評価の結果報告を行い、改善すべき点についても話し合いをした。 (外部評価) 職員一人ひとりが自己評価に取り組み、日々行っているケアを振り返り、課題点や気付いたこと等をミーティングで話し合われた。前回の評価結果を受けて、玄関周りや近隣の散歩等、日常的に外に出る機会を増やされた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議の中で外部評価の報告を行い、意見を出し合ってもらった。		昨年のも会議の中で「この街で」を広めていけるようにとの意見があり、今年手話を使い参加している方みんなで歌った。
			(外部評価)		
			会議時、民生委員の方や町内会長からの地域情報を得て、いきいきサロンへの参加や、ボランティアの受け入れ等につながり、利用者の暮らしが広がっている。又、家族会や同業者との交流も兼ね、会議が行われている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			松山市役所・松山市社協の方とは、よく会う機会があり相談もしている。		松山市社協の研修には、積極的に参加するように努めている。
			(外部評価)		
			運営推進会議や法人全体で開催する「花まつり」等に参加いただいたり、支援のこと等について相談に乗っていただいたりしている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			ミーティングの中で、勉強会を開き、資料を渡し学んだ。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会の中で取り上げ皆で話し合い、虐待がなされないように気をつけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には説明を十分に行い、理解をしていただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎日のかかわりの中で感じとり苦情が出た時には、職員同士が話し合い解決に結びつけている。		利用者が自分の意見を主張できない場合は、家族の意見を尊重している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時やケアプランの説明時に様子を伝え金銭出納帳も説明し、異動も文書で報告している。		県外の家族や市内でもあまり来られない家族には、メールで報告し相談をしている。
			(外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、大切なことは事業所に来られた時に、直接伝えるようにされている。月1回、請求書を送る際、金銭管理の報告や職員の異動等についても報告されている。最近では、ご家族と電子メールでの情報交換もされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情については窓口を設け、対応し説明を行っている。		
			(外部評価) 家族会を年に3回開催し、家族同士で話し合う時間を持っておられる。さらに、日々のご家族の来訪時に、お話を聴くようにされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 意見交換するミーティングの場があり反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 一ヶ月のシフトを組み、必要な人数の調整を行い、業務に支障のないようにしている。 管理者は、緊急時には対応できる体制をとっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員はユニット別に固定していて、異動は最低限にしている。		普段から他のユニットともかかわりがあるので、異動をしても顔を覚えており、ダメージは少ないように思う。
			(外部評価) 行事の際や日常的にもユニット間で行き来があり、利用者、職員は顔を合わせることが多く、ユニット間での異動は、利用者への影響は少ないと考えられている。各ユニットで職員の写真と名前を掲示されている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修はユニット別に配布し参加を呼びかけ、参加者はミーティングで発表をし全員に周知している。		研修に参加する職員は決まった者が多いため、全員に前向きに向上する姿勢を持ってもらうため工夫していきたい。
			(外部評価) 外部研修の案内は、ミーティングで職員全員に伝わるようになっている。受講希望者は、交代で参加されており、「全国大会」や「四国フォーラム」にも出席をされた。研修時等で得た内容は、ミーティングで発表し、報告書を提出するようになっている。		管理者は、研修に消極的な職員が意欲低下やレベル低下にならないよう、研修受講等を促していきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上                      運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>他のグループホームとの相互評価には参加し、はなまつりには来ていただき交流している。</p>		<p>勝山地区の7つのグループホームで定期的集まり交流する機会があり、10月にははなの家にて家族会のいもたきに参加してもらった。</p>
			(外部評価)		
			<p>地区のグループホーム7事業所が、お互いに運営推進会議に参加し合われたり、定期的に情報交換をされている。グループホーム協議会の相互評価事業では、民家改修型の懐かしい雰囲気のグループホームを訪問され、今度は、利用者も一緒にうかがいたいと話しておられた。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み                      運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>ビアガーデンと忘年会は招待があり、他に食事会やボーリングをしたり、同じグループの他の事業所とも交流をしている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み                      運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>研修参加希望者は優先的に勤務を配慮し、参加者には研修費用の補助がある。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係                      相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居前には本人にも見学に来ていただき、雰囲気を感じ取ってもらい、不安である事は納得していただけるよう説明を行っている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から入所まで何度も連絡を取りながら、信頼関係が築けるように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時には家族が限界にきている事が多いため、申し込みをされて入居まで他の事業所の利用も含め相談に応じている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の見学と共に利用者との交流の場を持ちながら、馴染んでもらえるようにしている。 (外部評価) 入居前には、できるだけ利用者に見学いただくようにすすめられている。又、管理者がご本人を訪ね、関係作りをされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事は職員も同じテーブルを囲み隣に座り、一緒に過ごす時間を作っている。 (外部評価) 利用者から「ありがとう・おいしかった」の言葉をいただく時等、職員は嬉しく、やりがいを感じると話しておられた。南予に住んでおられた方から「冷汁」の作り方を教わったり、好きな演歌歌手の歌を教えてください、一緒に歌うこともある。		利用者の介護度があがっている中、体制を3人から4人が確保できるようにしていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ただ利用者の家族というだけではなく一緒になって本人のために何をしなくてはいけないのかを考え、協力して本人を支えられるように家族との関係をつくっている。		普段から面会に来られた時、職員から声かけをして、希望など聞いている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には近況を伝え、状態が変化した時は必ず電話連絡し様子を伝えている。		県外の家族や面会が少ない家族に対しては、FAXやメールで伝えている。センター方式の必要な部分を記入してもらい支援につなげている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人・友人の面会があり、自室でゆっくりとお茶を飲みながら会話が楽しめるように支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) リビングで一緒にテレビを見たりオセロなどのゲームをしたりして、職員も間に入りとりもっている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) はなまつりには招待をして来ていただいたり、他の施設にかわられた方については、訪問して様子伺いをしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースを知り、希望にそうようしている。		
			(外部評価)		
			入居時には、ご家族からご本人のことについてお聞きし、入居後は、事業所での様子や会話の中から思いを知ることができるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人との会話の中や、家族からの情報をもとに把握している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活のリズムにあわせ、出来ることを把握し見極めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			要望は取り入れ、本人・家族の思いに近づけたプラン作成をしている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、ご本人、ご家族からの聞き取りをもとに、職員の気付き等を取り入れ、原案を作成し、ご本人、ご家族に意見をいただくようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のミーティングでモニタリングをして3か月を目安に立て直しをしている。		状態が変化した時は、その時に見直しプラン変更をしている。
			(外部評価)		
			月1回の職員カンファレンス、3ヶ月に1回の評価と見直しが行われている。又、状態変化があった場合には、その都度見直しがなされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人記録を毎日記録し、毎日の申し送りで情報を共有している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			母体である医院と医療連携をとり緊急時の対応もできている。		新しい施設もできたので、連携できる体制をとっていききたい。
			(外部評価)		
			お孫さんの運動会を見に、職員が同行されたり、選挙の期日前投票に行くことも支援されている。併設のデイケアの「踊りの会」を見に行かれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さんが積極的にボランティアで外出援助してくださったり、消防の方は運営推進会議に参加していただき協力を得ている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望を聞き定期的に訪問マッサージを受けたり、移動散髪車でカットや毛染めをしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の参加を通してかかわっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体が脳神経外科で関連には泌尿器科もあるため、状況に応じ受診している。他病院のかかりつけに受診の援助もしている。 (外部評価) 母体病院の主治医から、週1回往診を受けている。眼科・歯科・皮膚科の訪問診療を受ける方もいる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の医師や他病院の認知症外来にかかっている方もおり、支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  ユニット内の看護職員と母体の看護職員との連携をとりながら、健康管理をしている。		状態悪化時には母体の医院で入院の受け入れができ、安心できる。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  入院中は定期的に様子を伺いに行き家族との連絡も密にとり、主治医との連携をとりながら受け入れ体制を整えている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  重度化が予想される時点で主治医と家族の話し合いに立ち会い、治療方針を決めた上で本人・家族の意向にそうようかわっている。  (外部評価)  現在は、病気の治療のため、入院を希望される方が多いが、「最期まで事業所で居たい」という希望があれば、希望に添うことができることを、ご本人やご家族に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  本人・家族の意向をもとに主治医と話し合い、治療についての方法を確認しあいながら、チームとして取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  本人使用の馴染みのある物を持って来ていただき安心していただけるようにしたり、他グループホームに変わる場合は情報を伝え、引き続き穏やかな生活ができるようにかかわっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>尊厳を大切にし相手のことを考えた声かけや対応をするように努めている。</p>		<p>どんな状況であってもプライドを傷つけないような声かけを心がけたい。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>トイレ使用の際、膝にタオルを掛ける等、羞恥心に配慮されている。利用者の状態等のことで、他の利用者の言葉で、ご本人が嫌な思いをされないよう、職員は、利用者の間に入って仲介をされている。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の希望を組みとるよう相手の身振り・手振りで理解をしたり、ゆっくりと話を聞くようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのペース・体調に合わせた支援をしている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>朝ゆっくりされている方には、朝食の時間をずらしたり、介護度重度の方は、食事の時間が終わるとちょっと横になる等、その方の状態に合わせて支援されている。外出を希望される方には「敷地内の散歩だけでもできるように」と支援されている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価)  身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着替えの服を一緒に用意したり、移動美容車を利用したり、訪問散髪も利用している。		
54	22	(自己評価)  食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている  (外部評価)  誕生日には、ご本人から食べたい物を聞き取り、回転寿司に行ったり、ご家族と一緒に外食する機会も設けておられる。右手に麻痺のある方も左手で食べられるように、道具や食器を工夫されていた。車椅子の利用者が多く、食事中にトイレに行かれる方もあるので、車椅子にて食事をされている。	その人にあった食事形態(トロミやキザミ・ミキサー食)にして、食べれないメニューに対しては他の物にかえて対応している。		車椅子を使用して食事される方について、テーブルの高さや距離等、おいしい食事を楽しめるような配慮が期待される。又、食事中の職員の会話のトーン等についても、この機会に点検されてみてはどうだろうか。
55		(自己評価)  本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食後にはコーヒーを飲まれる方もいたり、おやつは手作りの物も出している。		
56		(自己評価)  気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿チェック表により排泄パターンを把握してトイレ誘導をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望を聞きながら入浴していただいている。		
			(外部評価)		
			入浴されない日でも、足浴されたり、ピー玉で足裏のマッサージの効果を得る等されている。入浴を嫌がられる方とは、職員と一緒に入浴されたケースもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			食後の昼寝の時間をとっていただいたり、声をかけて配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物たたみや台拭きを手伝っていただいたり、1Fの畑の収穫のお手伝いもしてもらっている。		お茶の先生をされていた方には月に一回来ていただいて一緒に過ごす時間を作っている。
			(外部評価)		
			今年、事業所主催のミニ運動会を開催し、利用者に選手宣誓をしていただいたり、ゲームで楽しい時間を過ごされた。利用者は、片付けやゴミ捨て・新聞取り等、それぞれできることをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			こづかいは職員が管理しており外食に行った時には、本人に支払をしてもらい支援した。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や買い物に行ったりして気分転換をしている。		
			(外部評価)		
			事業所は、市街地にあり事業所の前にあるホームセンターへ出かけたり、敷地内を散歩されている。時々、花を見に出かけたり、外食に行かれたりもされている。		さらに、外出しにくい方等も外出を楽しめるような支援の工夫が期待される。ご本人やご家族の希望等も聞き取りながら、利用者個々の暮らしを拡げていけるよう、取組みをすすめていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節毎の行事をして花見やイチゴ狩りに行ったり、外食に行くなど出かけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話を希望される人には使えるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪問できるよう施設はしておらず、ゆっくり居室で過ごせるようにかかわっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。 どうしても必要な方には家族に説明をして同意書をいただくようにしている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけず自由に出入りができるようにしている。 (外部評価) 日中は施錠しておらず、エレベーターを利用される方もいる。玄関横にある事務所の職員も、見守りをしてくださっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の見やすい位置にて様子が把握できるよう気をつけている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要なものは保管場所を決めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故を起こした時には報告書を作成し事故防止のマニュアルも作っており、事故を起こさないよう気をつけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 新しく入った職員を優先に救急の研修に参加させるように配慮し、ミーティングでも再度みんなで勉強している。		消防署の職員による救急訓練を行った。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に訓練を行っている。 (外部評価) 運営推進会議時に避難訓練を行い、ご家族も参加された。「やってみないと分からないことがある。」という感想もあった。消防署の指導のもと、新たに災害対策マニュアルを作成された。		医療法人での訓練は行っているが、はなの家独自の訓練も定期的に行っていきたい。 近日中に、事業所独自で夜間を想定した避難訓練を行う予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時には必ず説明をして理解を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日必ず一回は血圧・体温・脈拍の測定を行い、異常時には主治医に連絡できる体制ができている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者別に服薬内容のファイルを作っており把握している。</p>		<p>服薬時にはダブルチェックをして事故防止に努めている。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>メニューにし食物繊維のあるものを取り入れたたり、水分量チェックと定期的なトイレ誘導を心がけている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後には口腔ケアを行い、清潔を保ち嚥下性肺炎の予防に努めている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人別に食事摂取量と水分量チェックをして状況を把握している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>貧血気味の方には鉄分の多い食事を心がけ、利用者の体調や状態に合わせて、食事形態を変えて支援されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染症対策のマニュアルを作成して、手洗い・うがいを実行している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所で使用する調理器具は熱湯消毒や漂白を行い、食中毒をおこさないよう注意をしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関前には季節毎の花を植えて温かい雰囲気を感じ、来訪者には気持ちよいあいさつにて対応している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>キッチンよりの食事作りの匂いも感じる事ができ、リビングには季節の花をかかさないう活けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関やテーブルにお花を飾り、壁には古いレコードジャケットがディスプレイされ、懐かしい曲が流れていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファに座って新聞を読まれたり、利用者同士が一緒に過ごす場面もあり、一人で過ごせるようなソファも配置している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が使い慣れたベッドやタンスを持ってきてもらい、安心して過ごせるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者それぞれにタンスやベッドを持ち込み、一人ひとり個性のある居室になっている。管理者は、「病室みたいにならないように」との配慮から、入り口には暖簾をかけられており、ご自分の部屋が分かるようにされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			定期的な換気を行い、冷暖房の温度調節を行っている。冬は床暖房にて暖かく過ごせている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下・浴室には手すりをつけ、バリアフリーで段差のない空間づくりをしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや浴室にはわかりやすく表示をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには花や野菜を植えたり、1Fの畑には野菜を作り収穫を楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々一緒にかかわりながら、本人の意向をくみとっている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事の際は利用者と同じテーブルを囲み、会話をしながら食べている。ゴミ捨てや洗濯物たたみを一緒にしたり、午後からはオセロなどのレクリエーションをすることもあ
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人のペースに合わせた支援をしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の中には自分の思いを表わすことができない利用者もいるが、他には外出したり一緒に過ごすことでいい表情をみられることもある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的に外出をしている方もいたり、本人の欲しい必要なものを近くの店に買い物へも行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	主治医による週に一回の往診があり、緊急時には医師との連携がとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の様子に合わせて希望を聞いてできるだけ対応をして安心していただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には様子を伝えたり、ケアプランの説明時にも要望を聞いている。1人の入居者の家族に対しては理解が得られていない場面がある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ボランティアで定期的に来られカラオケをしたり話をしたりして過ごしていただいたり、近隣の小学生はクラブを通したり、授業として訪問してくれている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	民生委員さんを通してはなまつりやもちつきの参加やこちらからいきいきサロンへ行ったりしてかかっている。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は完璧とは言えないが精いっぱい頑張っている姿があるが、家族に思いが伝わらずかかわることでストレスが溜まっていることもある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者との信頼関係はできており、日々の暮らしの中で笑顔もみられる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	はなの家で生活をしていることで満足されているような会話がきける。1人の入居者の家族さんのみ信頼性に欠けていると思われる。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ 母体が病院であり関連病院として泌尿器科ができたので、医師の数も増えたことでより一層医療体制の安心がある。  
 ・ 近隣の味酒小学校の「ふれあいクラブ」や4年生の授業を通してかかわりがあり、よく訪問してくれ入居者も子供たちが来るのを楽しみにしている。  
 ・ 毎年5月に行われるはなまつりは地域の方が大勢来られ、パザーや踊りなどで盛り上がっている。  
 ・ 運営推進会議のかかわりにて民生委員さんとのつながりが深まって、地域のかかわりが密になってきている。